

令和6年度 市長施政方針・予算

令和6年第1回定例市議会(会期2月20日～3月14日)で小谷野市長が6年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。

今月はその概要をお知らせします。



第1回市議会定例会で施政方針を述べる小谷野市長

【施策方針の要約】

今年狭山市は、市制施行70年を迎えます。私たちは、先人たちが追いついた理想を胸に、変化の激しい時代を見据えて、持続可能なまちづくりを力をつくさなくてはなりません。6年度の予算案は、次の世代に豊かさを引き継ぎ、市民の皆さまの期待に応えることを念頭に編成いたしました。

「若い世代を増やす」では、本市の人口は、3年連続して大幅な社会増となっていることから、引き続き親元同居・近居支援補助制度や「若い世代の住宅取得支援補助制度」を実施してまいります。

仕事と子育ての両立支援では、児童館との複合施設「いりそ次世代支援センター(愛称 I P a l e t t e)」内に、新たに入曽保育所を開所し、4月から基幹型保育所としての運営を開始します。また、民間保育所に

おける保育士の処遇改善を促し、保育人材の確保に努めてまいります。

また、新狭山地区と入間川地区に、民間事業者による学童保育室の開設を進め、待機児童の解消を図ってまいります。

児童の泳力向上と学校、プールの老朽化に伴う課題の解決を目指し、民間のスイミングスクールを活用した水泳指導を委託するモデル事業を小学校3校で実施してまいります。

「まちと産業に活力を」では、入曽駅周辺整備事業において、7年3月のまちびらきに向けて、東西自由通路や橋上駅舎、駅前の新しい商業施設について、工事を推進してまいります。

都市計画道路の整備では、狭山市駅加佐志線の8年度末の供用開始に向けて用地取得を進め、道路工事や雨水管築造工事などを実施するとともに、次期優先整備区間である入間川入曽線の用地測量などを実施してまいります。

空き家対策では、除却費用の一部を補助する制度を創設し、生活環境の保全と、安全で安心なまちづくり、土地活用の促進を図ってまいります。

「樂しめる健康高齢社会を」では、高齢者の見守り支援対策として、ICTを活用した見守り

機器購入の補助制度の充実を図り、孤独死などを未然に防ぐ対策を進めてまいります。

予防接種では、重篤化や後遺症により生活の質の低下が懸念される带状疱疹について、ワクチン接種費用の一部を助成してまいります。

ふれあい健康センターサピオ稲荷山は、市民の健康増進と地域コミュニティの醸成に向けて、eスポーツなどの導入を検討し、幅広い世代が利用する施設となるよう取り組んでまいります。

「市政運営をみんなの力で」では、効果的で効果的な行政運営として「書かない窓口」を導入するとともに、各種行政手続きにおけるオンライン申請のさらなる拡充により「行かない窓口」を推進し、スマート自治体への転換を目指してまいります。また、地区センターにおいては、住民異動の手続きなどを可能にするなど、機能の拡充を進め、市民の利便性のさらなる向上を図ってまいります。

危機管理防災対策では、激甚化・多様化する自然災害に備え、地域防災計画の総合的な見直しを行うとともに、被災者支援システムを更新してまいります。

環境保全と脱炭素社会の実現に向けた取り組みでは「狭山

サステナビリティ・トランスフォーメーション(略称SSX)の推進やクリーンエネルギー推進補助金のメニューを充実させるほか、公用車に電気自動車を導入してまいります。

女性活躍の推進では、女性が働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む事業者への助成制度を創設し、支援してまいります。

市民の安全と安心に関する施策では、犯罪の発生を抑制し、子どもたちの見守りも兼ねることを目的に防犯カメラを設置し、警察などと連携して防犯対策や交通安全対策に取り組んでまいります。

市制施行70周年の節目を迎えるにあたって、私たちが掲げるメッセージは「ともに未来へ」です。この70周年という節目は、先人たちの思いと将来への希望をつなぐ大事な成長点です。この節目を共に祝い、感謝し、そして多くの市民が力を合わせて、ともに未来へ進むことができるよう、本年も本市の発展のために全力で市政運営に取り組んでまいります。

次のページでは、4つのテーマに沿って、今年度に取り組む重点事業をお知らせします。

令和6年度に取り組む主な事業

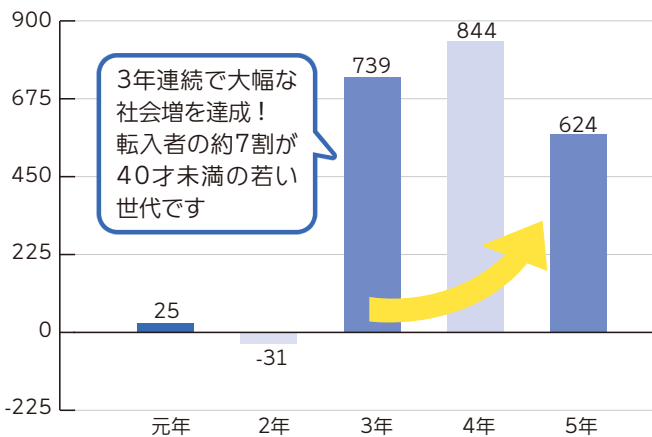
テーマ

1 若い世代を増やす

少子高齢化と人口減少対策に取り組み、人口減少を克服する持続可能なまちづくりを進めます。



狭山市の人口社会増減の推移



若い世代の移住・定住促進

6,565万円

市内で親世帯と同居、近居する世帯に対し、住宅の取得や増改築に係る費用の一部を補助します。また、市内に住宅を新築または新築住宅を購入する若い世帯に対し、費用の一部を補助します。

6年2月にInstagram「さやまちょこっとなび」を市民と協働で開始しました。SNSなどを活用して、引き続き市の魅力を発信していきます。

仕事と子育ての両立支援

1億8,366万2千円

4月に定員90名の民間の認可保育所を入曽地区に開園

するとともに、民間保育所の正規職員に行っている賃金などの処遇改善を、非正規職員（常勤）まで拡充し、人材の確保に努めます。また、お昼寝用簡易ベッドの「コット」を順次公立保育所へ導入し、保護者の負担軽減を図ります。

利用者の増加が見込まれる新狭山地区と入間川地区に、新たな民間学童保育室を開設する事業者へ補助金を交付します。

教育指導の充実と学習環境の整備

6,801万円

教員が教育活動に注力できるよう、全小・中学校へ「スクール・サポート・スタッフ」の配置を継続します。また、教頭が教員への指導などに、より注力できるよう「教頭マネジメント支援員」を新たに3校に配置し、学校運営の機能強化を図ります。

児童の泳力向上と学校プールの老朽化に伴う課題解決のため「さやまっ子スイスイプロジェクト事業」をモデル事業として小学校3校で実施します。また、6年度から電子黒板の導入を推進し、児童・生徒の学習環境の充実を図ります。さらに、暑さ対策として、全小・中学校の体育館に可動式の大型気化式冷風機を設置します。

不登校児童・生徒の心と学習をサポートするため、学習支援業務と相談業務を担う「教育支援センター」を教育センター内に設置するとともに、水富地区にも分室を設置します。



第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、6年度に行う主な事業を紹介します。

テーマ
②

まちと産業に活力を

産業の活性化を推進するとともに、駅周辺に賑わいを創出し、人と企業に選ばれるまちづくりを進めます。



①



②



③



④

入曽駅新駅舎とロータリーのイメージ画像(①④)、駅周辺のイメージ図(②)、駅前の商業施設のイメージ画像(③)

入曽駅周辺整備

33億9,430万5千円

7年3月のまちびらきに向け、東口・西口駅前広場などの公共施設を整備するとともに、東西自由通路と橋上駅舎、駅前の新しい商業施設の工事を推進します。



都市計画道路の整備

3億1,460万円

狭山市駅東口と東京狭山線を結ぶ「狭山市駅加佐志線」の8年度末の供用開始を目指し、用地取得や道路工事を進めます。また、次期整備優先道路である「入間川入曽線」について、狭山市駅加佐志線から東急入間川団地の整備済み区間までの用地測量や物件調査などを行います。



新たな産業基盤づくり

1,871万3千円

圏央道インターチェンジ周辺地区において、新たな工業系の土地利用転換を推進します。6年度は、周辺環境に

及ぼす影響を調査するための計画などを作成します。

水道水の安定供給

12億1,805万7千円

笹井配水場の耐震改修など施設の計画的な更新や耐震化を進め、災害に強く、安全で安心な水道水を安定供給します。また、人工衛星を活用した調査により、漏水を早期発見し修繕につなげます。



企業のカーボンニュートラルの推進

500万円

自社で排出する温室効果ガスの排出量を可視化するシステムを導入する事業者へサービス利用料を補助します。また、DXやGXなどに積極的に取り組む市内の中小企業に対し、専門家活用費用の一部を補助します。

空き家対策の推進

500万円

空き家を除却する費用を最大50万円補助します。防災や衛生、景観などに影響を及ぼす可能性のある空き家を除却することで、住環境を整え土地の活用を促進します。



テーマ
3

楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで健康で暮らすことができるよう、安心、健康、便利な社会を作ります。

高齢者の見守り体制の充実

76万1千円

一人暮らしの高齢者の孤独死などを未然に防ぐため、別の場所で暮らす家族が見守ることができる機器の設置費用を補助します。また「ひとり歩き高齢者安心シール」の機能を講座やチラシで周知し、地域全体で見守り体制の拡充を図ります。



るよう取り組みます。また、eスポーツの体験イベントを実施し、認知度を向上させ理解促進を図ります。

がん・疾病対策の総合的な推進

2億6,940万4千円

女性特有のがんの検診受診率を向上させ、乳がんや子宮がんの早期発見と治療につなげるため、女性のがん検診初回無料キャンペーンを継続します。また、がん患者の経済的負担の軽減や療養生活の質を向上させるため、ウィッグや帽子、胸部補整具といったアピアランスケア用品の購入費用を助成します。



新たに带状疱疹のワクチン接種費用を助成し、発症と重症化を予防します。

幅広い世代の健康づくり

300万円

サピオ稲荷山にeスポーツをはじめ、健康増進と交流促進に資するさまざまな機能の導入を検討し、幅広い世代が楽しみながら体力づくりを行うことができる施設とな

テーマ
4

市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にふさわしい元気なまちづくりを進めます。

スマート自治体への転換

5,227万円

窓口でマイナンバーカードなどを利用した申請書自動作成機や、住民票の写しなどの証明書を取得できるキオスク端末を設置し「書かない窓口」を推進します。また、オンライン手続きでの円滑な情報収集と手続きを実現するために、ライフイベントごとに必要な手続きが確認できる「手続ナビゲーションサービス」や、市が有する地理情報をインターネットで閲覧できる「公開型GIS」を市公式ホームページに掲載するなど「行かない窓口」を推進します。

地区センターにおいて、行政手続きの拡充や、タブレット端末を使用した本庁舎とのオンライン相談を実施するとともに、キャッシュレス決済を導入します。

防犯対策の充実

1,500万円

高齢者や子どもたちなどが事件や事故に巻き込まれないよう、通学路や駅前周辺など100カ所に防犯カメラを設置し、警察と連携して犯罪の発生抑止に努めます。



危機管理体制の充実

1,397万8千円

激甚化・多様化する自然災害に備えて「狭山市地域防災計画」を全面改定します。また「被災者支援システム」を更新し、迅速な罹災証明書の発行や、建物被害調査結果の登録をスムーズに行えるようにします。

女性活躍の推進

100万円

女性が働きやすい職場環境の改善に取り組む市内事業者に対し、授乳室などの設置やトイレの改修に要する経費を補助します。また、民間企業で活躍する女性担当者の交流会や研修会などを実施し、女性の能力を活かせる環境改善につなげます。



ともに未来へ～70周年事業～

2,997万4千円

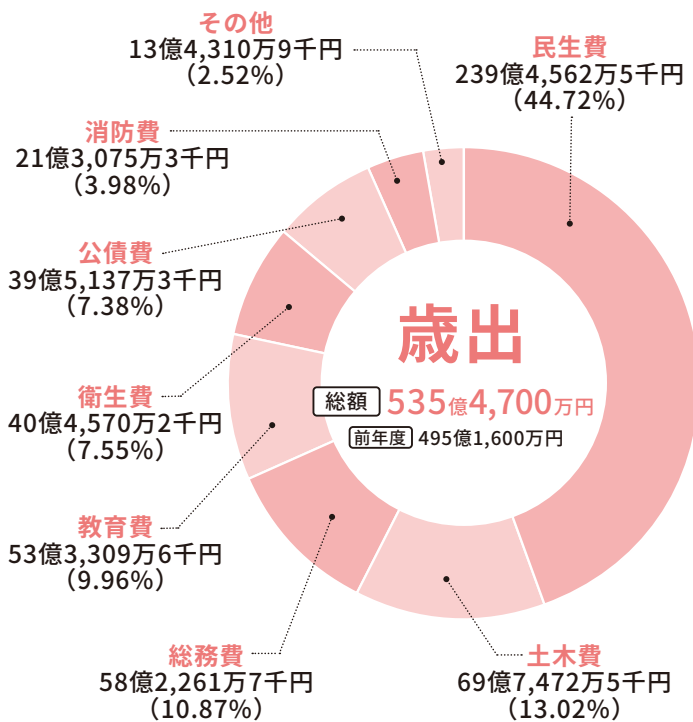
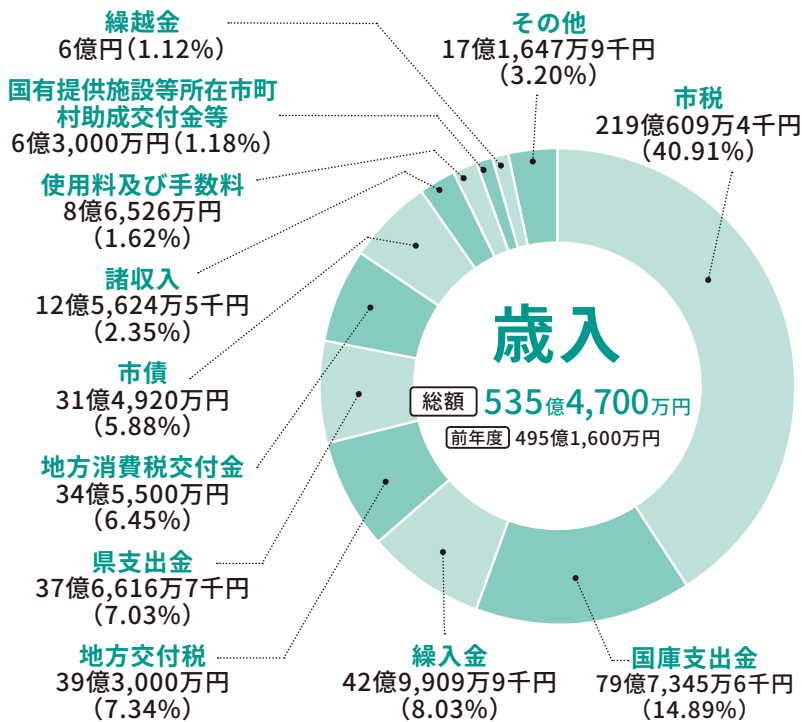
狭山市は7月1日に市制施行70周年を迎えます。記念式典をはじめとした70周年事業を実施し、市民と共に豊かな未来を紡ぐ契機とします。(8ページに関連記事あり)

6年度

一般会計当初予算の概要

総額535億4,700万円

前年度比8.1%増！
一般会計の予算総額は3年連続過去最大



歳入の4割以上を占める市税は、市内の家屋の新增改築分や償却資産分の増収による固定資産税の増額により、また、国庫支出金は入曽駅周辺整備事業の財源として増額となっています。

歳出の4割以上を占める民生費は、社会福祉関係経費が増額しており、土木費は入曽駅周辺の整備の推進など、教育費は博物館の屋上防水等改修工事の実施や小学校の教科書改訂に伴う指導書の更新などによりそれぞれ増額となりました。一方で、衛生費は新型コロナウイルスワクチン接種に係る事業の完了などにより減額となっています。

市民1人当たりに使われるお金…年間で約36万円

※6年1月現在の人口148,872人を基準に算出

<p>民生費</p> <p>160,847円</p> <p>子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費</p>	<p>土木費</p> <p>46,850円</p> <p>道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費</p>	<p>総務費</p> <p>39,112円</p> <p>市有財産の管理や一般事務などに要する経費</p>	<p>教育費</p> <p>35,823円</p> <p>学校教育や生涯学習に要する経費</p>
<p>衛生費</p> <p>27,176円</p> <p>保健衛生やごみ処理などに要する経費</p>	<p>公債費</p> <p>26,542円</p> <p>道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の返済に要する経費</p>	<p>消防費</p> <p>14,313円</p> <p>消防や災害対策に要する経費</p>	<p>その他</p> <p>9,022円</p> <p>市議会運営や農業振興などに要する経費</p>

狭山市の予算と財政状況を公表します

令和6年度の一般会計、特別会計の当初予算と5年度下半期の予算執行状況、財産や基金の状況を公表します。

日程 5月1日(水)～7月31日(水)

場所 市役所1階情報公開コーナー、入曽地域交流センター、地区センター、図書館

※休館・休所日は除く。市公式ホームページでもご覧いただけます

問合せ 財政課へ ☎2935-6633